

自動車 IoT の画期的なビジネスモデルを開発
～GMS 独自開発の遠隔制御システム"MCCS"を活用した
モビリティ向けプラットフォームサービス～

自動車 ICT のベンチャー企業、グローバルモビリティサービス(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中島徳至、以下 GMS)は、昨今注目を集めている自動車の IoT (Internet of Things:モノのインターネット) 分野において、画期的なビジネスモデルを開発いたしました。今後、国内外において様々なビジネスを展開してまいります。

GMS が独自開発したシステムである MCCS(Mobility-Cloud Connecting System)は、クラウドを用いてあらゆる車両の位置・走行情報や利用情報等をリアルタイムでセンシングすることができ、収集した情報を分析した上で、車両に適切な遠隔制御を、自動で働きかけることを可能にするシステムです。

この技術を活用することで、これまでにない新たな自動車向けサービスを提供することができま

す。

GMS は MCCS を活用して"与信がなく車両を購入できない"方々に対し、"利用料金の支払いが止まれば車両を遠隔起動停止して回収する"ことを条件とし車両を提供するという、新たな与信を生み出すサービスを展開いたします。

GMS は日本国内において、車両の遠隔制御機能を活用しての各種サービスを展開するに留まらず、新興国において"車両購入時の与信問題を解決する"ための画期的なシステムとして、三輪タクシー車両（トライシクル）に搭載し事業を展開してまいります。

第一市場国として拠点を設けているフィリピン国は BOP (Base of Pyramid) 層が人口の大半を占め、タクシーとして営業すべく車両を購入したくとも与信がない、という人々が数多く存在します。私たちの MCCS は、車両の現在位置のリアルタイム把握、有事の際に遠隔で走行停止制御を行う事が可能となるため、"与信審査を不要にして車両を提供しながらも確実な資産保全ができる"という、新たな車両提供サービスを実現し、現地の人々の雇用創造・生活水準の向上に貢献いたします。また

GMS は、電動車両を始めとした環境対応車両を積極的に取り扱い大規模普及を実現することで、新興国の深刻な大気環境の改善に貢献します。

GMS は、MCCS を活用し自動車の IoT 化（コネクテッド・カー）を促進すると共に、コネクテッド・カーに向けた様々なサービスを展開していきます。さらには、クラウドに集められたクルマに関するビッグデータの活用、そして独自のコネクテッド・カー向けアプリケーションを提供するプラットフォームサービスの展開という新たなステージを目指し、事業に取り組んでまいります。

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

Global Mobility Service 株式会社 担当：高橋、野崎

電話：03-6264-3113（代） E-mail: press@global-mobility-service.com

＜Global Mobility Service 株式会社について＞

設 立：2013 年 11 月

本 社：東京都港区芝大門一丁目 12 番 16 号 住友芝大門ビル 2 号館 4 F

代 表 者：中島 徳至（代表取締役 社長執行役員/CEO）

事業内容：・モビリティサービスプラットフォーム（MSPF）の提供
・クラウド上に蓄積したビックデータの二次活用サービス

【MCCS とは】

Mobility-Cloud Connecting System。車両に搭載し、遠隔で車両の走行制御を行うことが可能です。クラウドシステムと連携し、車両のあらゆる情報を収集し、それら情報を基に車両をコントロールします。